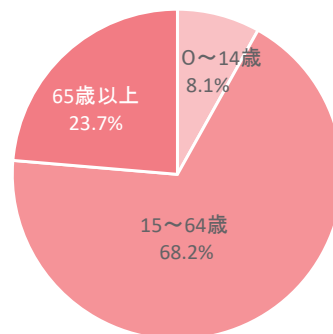


第6地区福祉プラン

東武東上線・JR川越線の川越駅と西武新宿線の本川越駅があり、川越市の表玄関ともいふべきところです。クリアモール商店街や八幡通り商店会のにぎわいは著しいです。歴史的にも、黒門町、一番町、二番町、三番町と武家屋敷があったところで、今でもその面影が残っています。

■人口	6,447人
■世帯数	3,618世帯
■民生委員・児童委員数 (主任児童委員を含む)	11人
■保健推進員数	3人
■ボランティア団体数	3団体
■老人クラブ数	4クラブ
■福祉施設数	7施設

■年齢別割合



活動目標1 地域の交流を進めます

- ◆一人暮らし高齢者が集う会食会を、各自治会館等地域の拠点を活用して実施します。
- ◆自治会は一人暮らしの高齢者と育成会役員と連絡を取り合い、子どもと高齢者の交流会を行います。(第6地区世代間交流、盆踊り大会)
- ◆住民は、あいさつを心がけ、隣近所の人と顔見知りになるように心がけます。
- ◆地区社協や自治会等が行う活動は充実しているので、みんなで参加するよう心がけるとともに、参加しやすい環境づくりを構築していきます。
- ◆自治会館等を利用した交流行事に若い世代の参加を促進し、自治会活動との関わりを深めます。
- ◆地域住民は、町のイベントに参加するように隣近所の人々に声をかけをします。
- ◆定年退職した人に声をかけ、ボランティア活動に参加してもらえよう働きかけます。
- ◆川越まつりや世代間交流事業を通じて、若い世代の参加を促進し、自治会活動との関わりを深めます。

活動目標2 一人暮らしの高齢者等、支援の必要な人を地域で支えます

- ◆災害時に避難行動を支援する必要がある高齢者や障害のある人等の把握を行います。
- ◆老人クラブ等、地域で高齢者の友達づくりの場を増やし、互いに支え合い・助け合う関係を築きます。
- ◆地区社協では、一人暮らしの高齢者宅を訪問し、安否確認を行う事業を実施します(友愛訪問事業等の地区社協事業の実施)。
- ◆住民は、地域において、一人暮らし高齢者や障害のある人が困っていたら民生委員・児童委員や自治会へ相談するなど、助け合う気配りをします。
- ◆地域で開催されている、高齢者等が集まるサロン等、交流を図る場を増やし、一人暮らしの高齢者が楽しめる場を増やします。
- ◆いつまでも健康で長生きできるよう、健康体操等を仲間で行うサークル活動に参加します。
- ◆介護の悩みを話し合う機会や福祉の制度を知る機会をつくり、当事者同士が交流する機会(オレンジカフェ等)をつくりまます。
- ◆地域活動を担う住民ボランティアを自治会単位で集めます。

活動目標3 災害時に地域で支え合える体制をつくりまます

- ◆自治会は、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障害のある人の情報を把握し、災害時に避難支援を行う体制を構築するための話し合いの機会をつくりまます。
- ◆地区社協では、行政、市社協、地域包括支援センター等の福祉関係機関と協力し、一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯、障害のある人の見守り体制を充実させまます。
- ◆地区社協は、防災・防犯に関する情報を提供し、それを受けた自治会は、住民、民生委員・児童委員、福祉関係者に向けた講座を開き、防災・防犯について話し合います。

【人口、世帯数】情報統計課(令和3年1月1日現在)

【民生委員・児童委員数】福祉推進課(令和2年4月1日現在)

【保険推進員数】健康づくり支援課(令和2年3月31日現在)

【ボランティア団体数】市社協に登録しているボランティア団体数

(令和2年3月31日現在)

【老人クラブ数】川越市老人クラブ連合会に登録している老人クラブ数

(令和2年4月1日現在)

【福祉施設数】令和2年度「保健・医療・福祉のしおり」

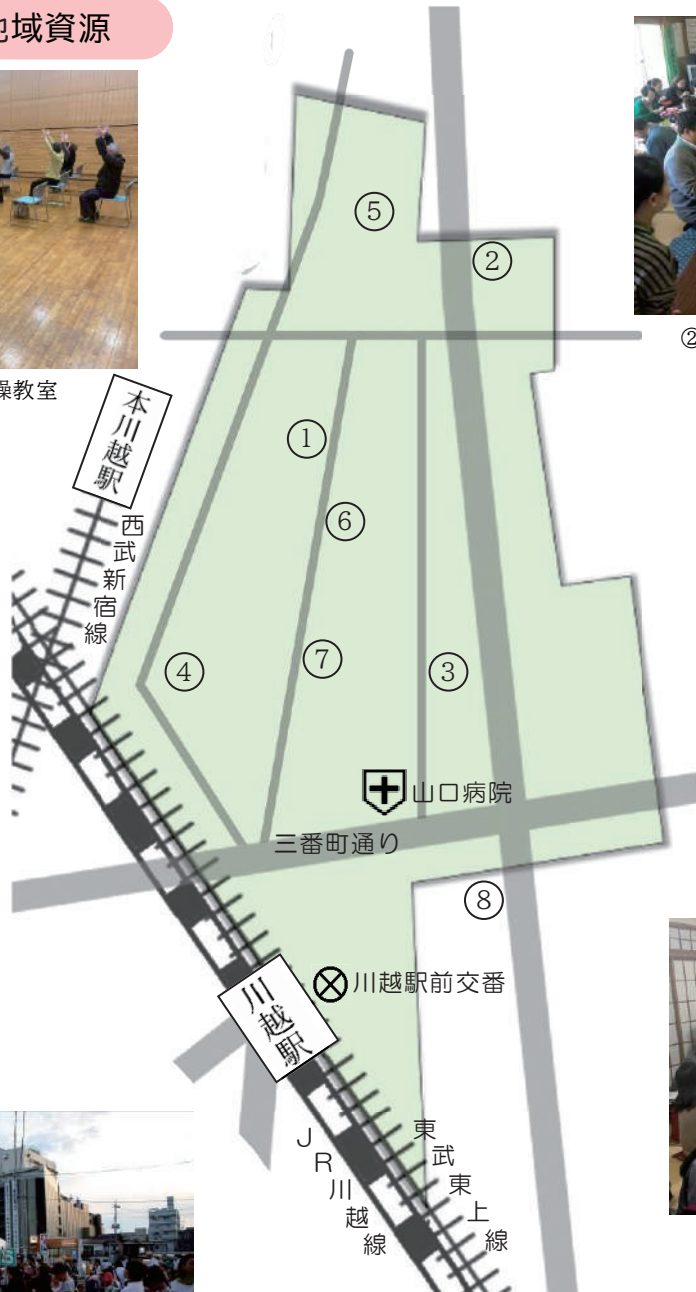
地図と主な地域資源



②④⑤⑧いもっこ体操教室



②一人暮らし高齢者集い事業



⑥福祉納涼大会



④地区別福祉懇談会事業

No.	主な活動場所	No.	主な活動場所	No.	主な活動場所
①	新富町会館	④	脇田町会館	⑦	クレアパーク
②	通町会館	⑤	小江戸蔵里	⑧	クラッセ川越（第7地区）
③	南通町自治会集会所	⑥	丸広百貨店川越店		

地区別福祉プランは「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」の一部として、市民、各種団体、事業者等による支え合い・助け合い活動を促進するため、地区社協が中心となって具体的な取り組みを定めました。

発行：第6地区社会福祉協議会
 編集：川越市社会福祉協議会
 〒350-0036 川越市小仙波町 2-50-2
 電話：049-225-5703